

1 高知大学医学部附属病院

http://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/index.shtml

病院概要 ●平成23年5月現在

所在地 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮185-1
開設年 昭和56年
開設者 国立大学法人高知大学 学長 相良祐輔
院長名 杉浦 哲朗
病床数 605床〔うち一般558床、療養0床、その他(精神科35床、歯科12床)〕
診療科目 消化器内科、内分泌代謝・腎臓内科、血液・呼吸器内科、老年病・循環器・神経内科、小児科、神経科精神科、皮膚科、放射線科、外科、麻酔科蘇生科、産婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、総合診療部、歯科口腔外科
医師数 270名
研修医数 40名
研修医の主な出身大学 高知大学、川崎医科大学、旭川医科大学、金沢医科大学
外来患者数 1,079名/1日(平成22年度)
入院患者数 504名/1日(平成22年度)



研修・認定施設一覧

- | | |
|----------------|-----------------|
| 日本内科学会 | 日本乳癌学会 |
| 日本消化器病学会 | 日本臨床検査医学会 |
| 日本肝臓学会 | 日本臨床細胞学会 |
| 日本消化器内視鏡学会 | 日本神経学会 |
| 日本腎臓学会 | 日本静脈経腸栄養学会 |
| 日本人類遺伝学会 | 日本内分泌学会 |
| 日本糖尿病学会 | 日本周産期・新生児医学会 |
| 日本リウマチ学会 | 日本肥満学会 |
| 日本血液学会 | 日本大腸肛門病学会 |
| 日本呼吸器学会 | 日本甲状腺学会 |
| 日本老年医学会 | 日本静脈経腸栄養学会 |
| 日本循環器学会 | 日本脳卒中学会 |
| 日本小児科学会 | 日本放射線腫瘍学会 |
| 日本皮膚科学会 | 日本IVR学会 |
| 日本超音波医学会 | 日本臨床腫瘍学会 |
| 日本核医学会 | 日本精神神経学会 |
| 日本医学放射線学会 | 日本気管食道科学会 |
| 日本外科学会 | 日本東洋医学会 |
| 日本消化器外科学会 | 日本病理学会 |
| 日本胸部外科学会 | 日本アレルギー学会 |
| 日本集中治療医学会 | 日本がん治療認定医機構 |
| 日本歯科麻酔学会 | 日本小児循環器学会 |
| 日本麻酔科学会 | 心臓血管外科専門医認定機構 |
| 日本ペインクリニック学会 | 日本肝胆膵外科学会 |
| 日本産科婦人科学会 | 日本透析医学会 |
| 日本眼科学会 | 日本高血圧学会 |
| 日本整形外科学会 | 日本緩和医療学会 |
| 日本耳鼻咽喉科学会 | 日本小児科学会 |
| 日本脳神経外科学会 | 日本治療学会 |
| 日本泌尿器科学会 | 呼吸器外科専門医合同委員会 |
| 日本口腔外科学会 | シフトワーク実施基準管理委員会 |
| 日本臨床病理学会 | 日本栄養療法協議会 |
| 日本リハビリテーション医学会 | 日本形成外科学会 |
| 日本プライマリ・ケア学会 | 日本頭頸部外科学会 |
| 日本老年精神医学会 | 日本生殖医学会 |

病院の特徴

高知大学医学部附属病院は、患者、医療スタッフに安全、安心の医療を提供できる環境を整えるためさまざまな取り組みを行ってきました。中でも、院内感染対策チームは日常的な巡視や指導のほか、パルスフィールドを用いた監視で院内交差感染の早期発見と対応に努めています。経営面においては東洋経済新報の「附属病院の収益率が高い大学」で2006年度は全国1位にランキングされており、収益は働きやすい環境づくり、新しい医療機器の購入に還元し、職員の福利厚生の上につなげています。その一環として国立大学法人では初めて自己資金でPET 診断装置を導入するなど、大型機器を積極的に導入しています。また、女性医師や看護師が働きやすいよう託児所を新設したり、休業中の女性医師のキャリア形成支援プログラムを立ち上げているほか、働きながら学位取得をめざせる「社会人大学院生」を多く採用したり、医員の処遇を改善するなど、大学病院で学び働くことの両立をさまざまな面からサポートしていきます。

研修プログラム ●研修プログラムの特徴

研修制度の見直しに伴い自由度の高い研修が可能となりました。みなさんの将来のキャリアについて各分野のアドバイザーと一緒に考え、有意義な研修を組みましょう。また安心・安全な救急研修のために、BLS、ICLS、CVライン研修から、麻酔科研修を経て、救急現場に出る「ステップ式救急研修」を行います。そのほか、研修医ルームや学習スペース、ネット環境などの環境整備のほか、研修医の学会出張費支出、1年目からの夏期休暇など、待遇・福利厚生面でも充実しています。

研修スケジュール(一例)

年間	1年次											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由	自由
2年次	救急	救急	選択	選択	地域	自由(協力型病院での研修も可)	自由(協力型病院での研修も可)	自由(協力型病院での研修も可)	自由(協力型病院での研修も可)	自由(協力型病院での研修も可)	自由(協力型病院での研修も可)	自由(協力型病院での研修も可)

週間	月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日				
	午前	病棟研修 肝生検/PEIT					外来研修					病棟研修					病棟研修/GIF					外来研修			
午後	回診					病棟研修 CF/ERCP					病棟研修 腹部血管造影					病棟研修 CF/ERCP					病棟研修 肝生検/PEIT 胆膵回診				
夕	症例検討会 抄読会										肝臓回診					消化管読影									



後期研修について

- 1 専門医の養成/数多くの学会認定医・専門医研修指定で、各診療部門が専門医資格の取得を目標とした研修プログラムを用意。
- 2 大学院コースの設置/一般の大学院生(博士課程)として研究に打ち込むコースのほか、医員(レジデント)として臨床修練を行いながら「社会人大学院生」として研究を行うことも可能。
- 3 ローテート研修の実施/初期研修後に進路を決めかねている者に対し、診療科を絞り込み、6ヵ月単位のローテート研修を提供するなど、カスタムメイドの後期研修プログラムでサポート。
- 4 病理専門医の養成/病理専門医だけでなく臨床医にとっても病理学はきわめて有用であるとし、同院では独立した部門である「病理診断部」での研修も可能。
- 5 プライマリ・ケアと地域医療の双方に特化した「家庭医療学」分野での研修も可能。

研修医からのメッセージ

高谷 将悟 高知大学卒、岡山県出身



私は高知大学を卒業し、そのまま母校で研修しています。研修医となって日は浅いですが、諸先生方の指導の下、日々臨床に励んでいます。学生時代の勉強は座学が中心で、臨床現場に出てみるとその知識を使いこなせていないのが現状です。国家試験のように選択肢はなく、自分で一から考えなければならず、経験がものを言う世界だと常々感じています。私が大学病院を選んだ理由は、症例数は市中病院に比べると少ないものの、一つの症例に対してじっくり深く考えることができ、市中病院で忙殺されるよりは、自分にあっていると考えたからです。また研究機関、教育機関でもあるという点があります。自ら課題を見つけること、そして人に教えることが自分に知識を定着させ、わかりやすい説明の仕方を身につける近道だと考えました。さらに、大学時代から知っている仲間とわからないことを相談できるスタッフが多いという点もあります。高知大学での研修ローテートはとても自由度が高く、自分の進路に応じて必要な科や興味のある科を選んで自分のペースで研修することができます。指導医の先生方もとても親切で教育熱心ですし、研修するには事欠かない環境が整っていると思います。ぜひ我々とともに大学病院で一緒に研修しましょう。

研修責任者からのメッセージ

瀬尾 宏美 高知医科大学卒
卒後臨床研修センター長(総合診療部教授)



初期研修の2年間は医師としての基本を養うもっとも大切な時期です。患者さんや指導医、スタッフとどのように接すれば良いのか。患者さんの問題を解決するためにはどのようなプロセスを踏めば良いのか。自分の知らないことをどうやって学習し、追及すれば良いのか。このような医師としての基本姿勢を身につけるには、教育スタッフの豊富な大学病院での研修をお勧めします。当院では研修医一人ひとりに合った研修方略をいっしょに考えていきます。さらに学会出張費の支給や研修医宿舎の新築など研修環境もますます充実させています。

募集要項

応募資格 マッチング参加者
採用予定人数 49名(申請中)
待遇 【身分】医員(研修医)
【給与】月額約32万円
(基本給 月額約18.5万円、
臨床研修手当 月額約11万円、
超過勤務手当、宿日食手当、
診療特別手当あり)
試験 小論文、面接
直 月4~5回程度

お問い合わせ・応募先

住所 〒783-8505
高知県南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部附属病院
担当課 総務企画課高度医療人支援係
担当者 江口
T E L 088-880-2208
F A X 088-880-2227
E-mail is05@kochi-u.ac.jp